

# 刑 法 犯 の 概 況

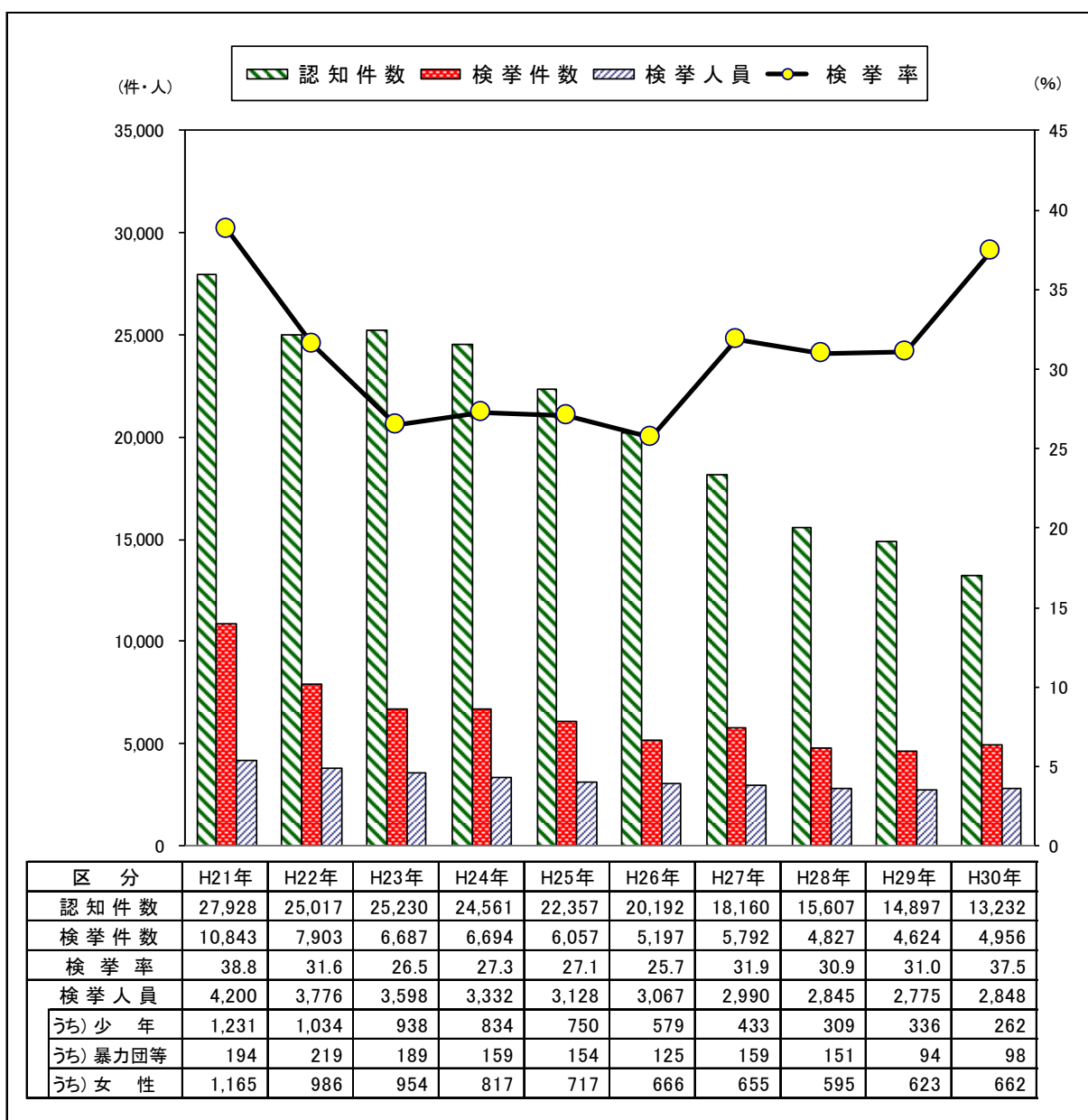
## 1 刑法犯

### ● 認知件数は7年連続減少（平成最少を更新）

平成30年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が13,232件、検挙件数が4,956件、検挙人員が2,848人、検挙率が37.5%でした。前年と比較すると、認知件数は1,665件（-11.2%）減少、検挙件数は332件（+7.2%）増加、検挙人員は73人（+2.6%）増加、検挙率は6.5ポイント上昇となりました。

認知件数は7年連続で減少し、平成最少を更新しました。

図－1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

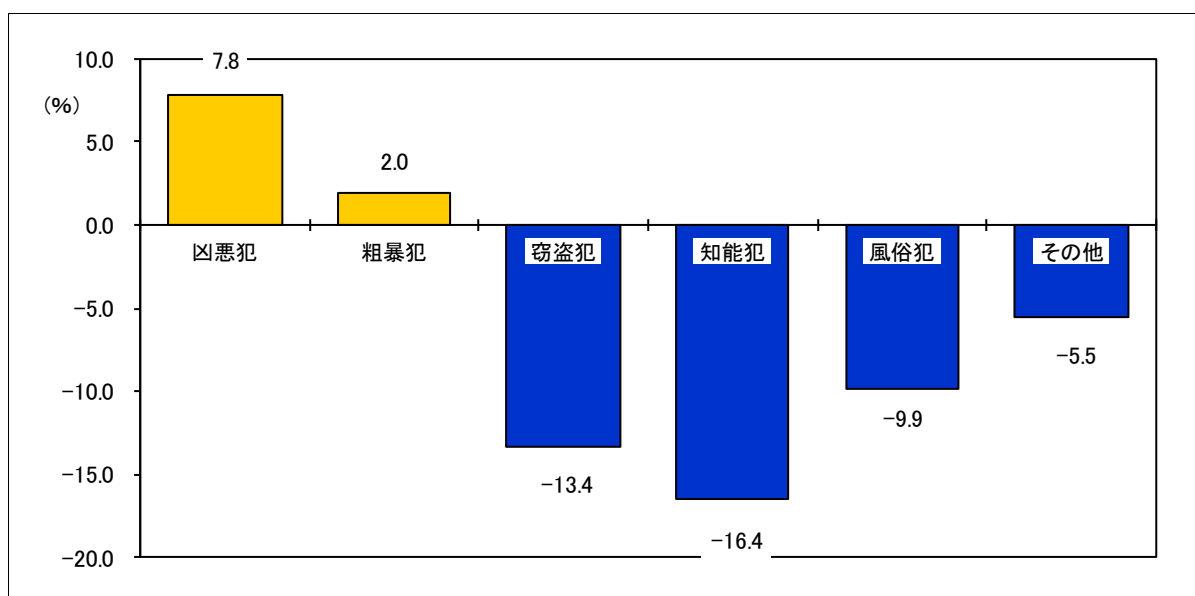


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が55件、粗暴犯が887件、窃盗犯が9,188件、知能犯が590件、風俗犯が91件、その他の刑法犯が2,421件でした。前年と比較すると、凶悪犯、粗暴犯は増加しましたが、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯はそれぞれ減少しました。

表－1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
平成30年	13,232	55	887	9,188	590	91	2,421
構成比	100.0	0.4	6.7	69.4	4.5	0.7	18.3
平成29年	14,897	51	870	10,607	706	101	2,562
構成比	100.0	0.3	5.8	71.2	4.7	0.7	17.2
増減 件数	-1,665	4	17	-1,419	-116	-10	-141
%	-11.2	7.8	2.0	-13.4	-16.4	-9.9	-5.5

図－2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪

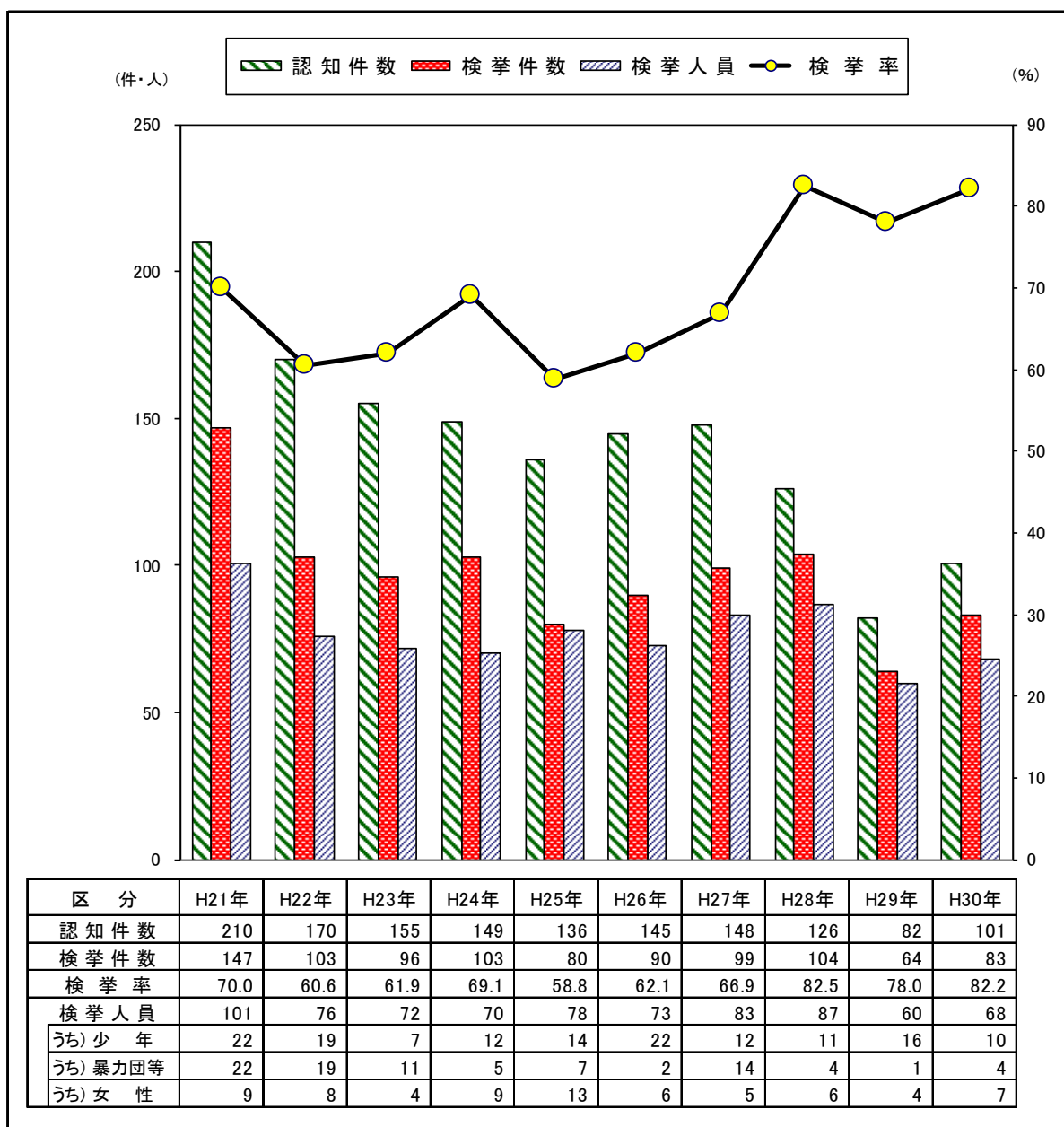
## 2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつ）

### ● 検挙率は80%前後で推移

平成30年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が101件、検挙件数が83件、検挙人員が68人、検挙率が82.2%でした。前年と比較すると、認知件数は19件（+23.2%）増加、検挙件数は19件（+29.7%）増加、検挙人員は8人（+13.3%）増加、検挙率は4.2ポイント上昇となりました。

認知件数は前年より増加しましたが、検挙率は80%前後で推移しています。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

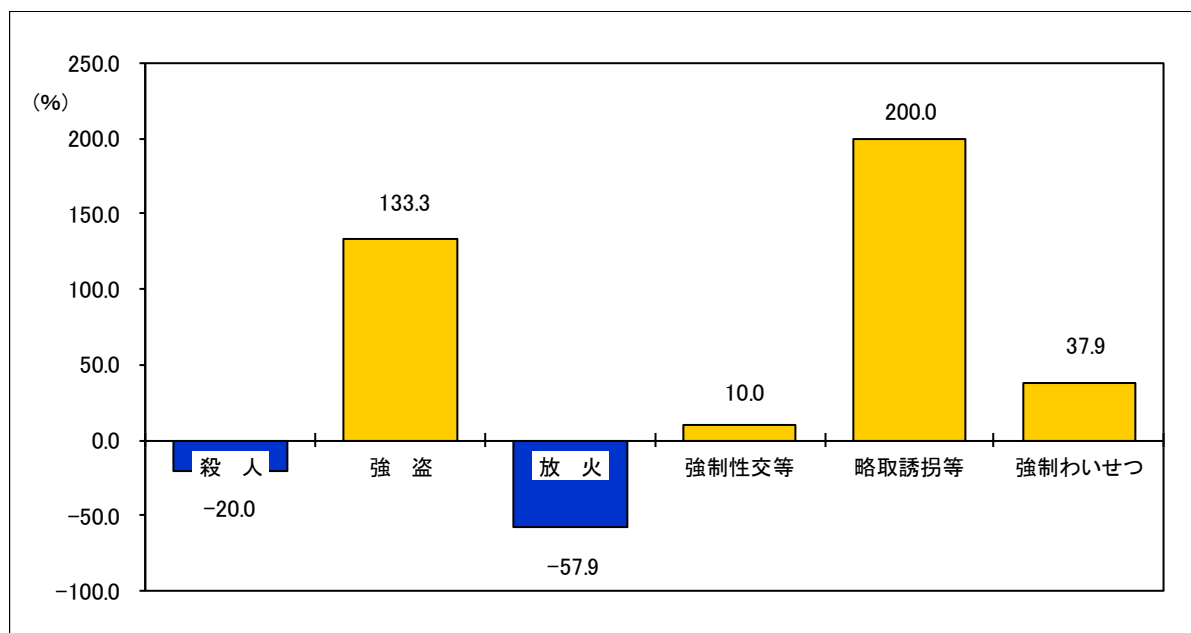


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が8件、強盗が28件、放火が8件、強制性交等が11件、略取誘拐等が6件、強制わいせつが40件でした。前年と比較すると、殺人と放火は減少しましたが、強盗、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつはそれぞれ増加しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
区分								
	平成30年	101	8	28	8	11	6	40
	平成29年	82	10	12	19	10	2	29
増減	件数	19	-2	16	-11	1	4	11
	%	23.2	-20.0	133.3	-57.9	10.0	200.0	37.9

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

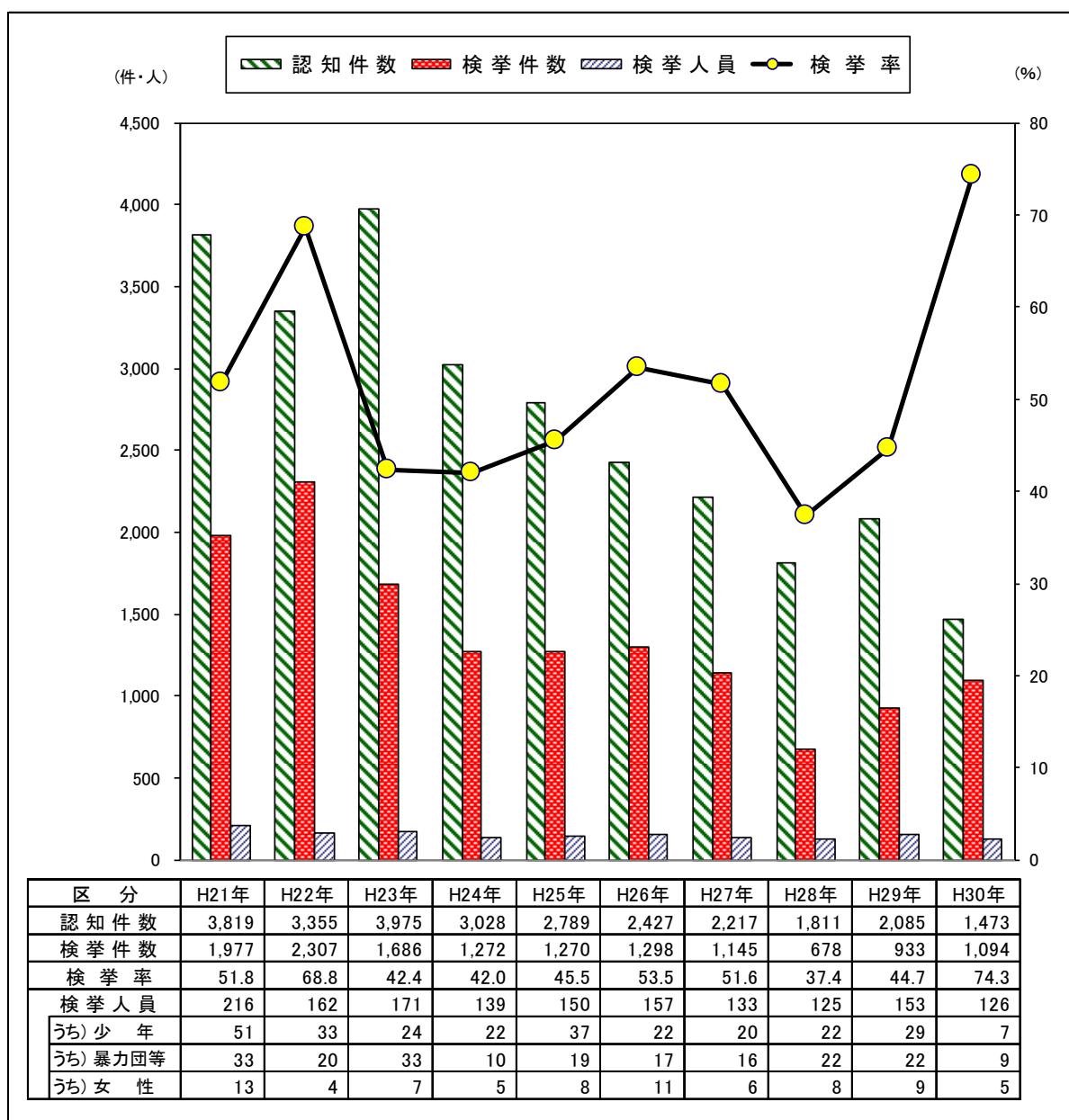
### 3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

#### ● 重要窃盗犯は減少、検挙率が74.3%に上昇

平成30年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が1,473件、検挙件数が1,094件、検挙人員が126人で、検挙率が74.3%でした。前年と比較すると、認知件数は612件（-29.4%）減少、検挙件数は161件（+17.3%）増加、検挙人員は27人（-17.6%）減少、検挙率は29.6ポイント上昇となりました。

認知件数はピーク時（平成15年：8,800件）に比べ、約6分の1に減少しました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

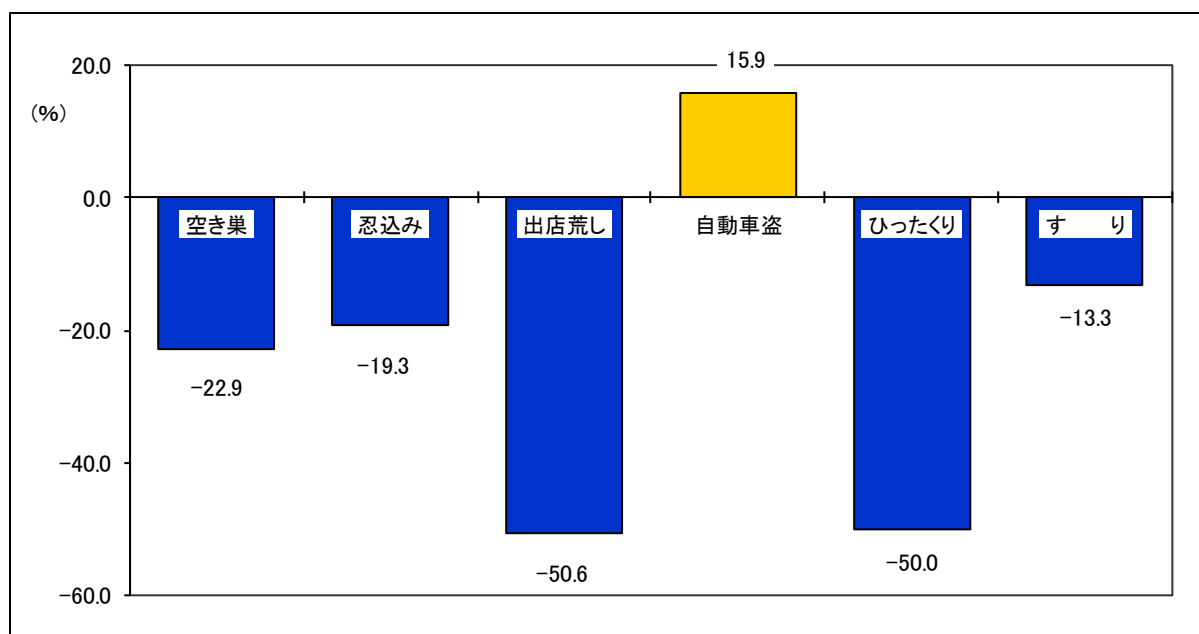


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が1,297件、自動車盗が153件、ひったくりが10件、すりが13件でした。前年と比較すると、自動車盗は増加しましたが、侵入盗、ひったくり、すりはそれぞれ減少しました。

表-3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	出店荒し			
平成30年		1,473	1,297	521	142	167	153	10	13
平成29年		2,085	1,918	676	176	338	132	20	15
増減	件数	-612	-621	-155	-34	-171	21	-10	-2
	%	-29.4	-32.4	-22.9	-19.3	-50.6	15.9	-50.0	-13.3

図-6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。